

総括シンポジウム (科学研究費基盤研究(C)代表:南 16K03176)
『古墳時代における都市化の実証的比較研究』
—大阪上町台地・博多湾岸・奈良盆地—』

12月22日(土)

- 趣旨説明 (12:45-12:50)
- 報告1 「大阪上町台地周辺の古地形復元の概要」 (12:50-13:20)
趙 哲済 ((公財)大阪市博物館協会 大阪文化財研究所)
- 報告2 「西大阪平野の古地形復元—堆積学的見地から—」 (13:20-13:50)
中条武司 (大阪市立自然史博物館)
- 報告3 「大阪上町台地の古植生変化と周辺域との比較」 (13:50-14:20)
辻本裕也 ((株)古生態研究所)
- 報告4 「都市化と食糧の需給(1)—植物質食糧—」 (14:30-15:00)
大庭重信 ((公財)大阪市博物館協会 大阪文化財研究所)
- 報告5 「都市化と食糧の需給(2)—動物質食糧—」 (15:00-15:30)
丸山真史 (東海大学海洋学部)
- 報告6 「都市化と木材の需給」 (15:30-16:00)
樋上 昇 ((公財)愛知県教育・スポーツ振興財団 愛知県埋蔵文化財センター)
- 報告7 「都市化と手工業生産」 (16:00-16:30)
杉本厚典 (大阪歴史博物館)

12月23日(日)

- 報告8 「列島最古の「都市」—福岡市比恵・那珂遺跡群—」 (10:00-10:30)
久住猛雄 (福岡市経済観光文化局文化財部)
- 報告9 「那津官家から筑紫館—都市化の第二波—」 (10:30-11:00)
菅波正人 (福岡市博物館市史編さん室)
- 報告10 「南郷遺跡群からみた古墳時代における奈良盆地の都市的様相」 (11:00-11:30)
青柳泰介 (奈良県立橿原考古学研究所附属博物館)
- 報告11 「大阪上町台地の都市化と奈良盆地の比較」 (11:30-12:00)
南 秀雄 ((公財)大阪市博物館協会 大阪文化財研究所)
- 【討論】** (13:00-15:30)

パネラー：全報告者

司会：南秀雄



日時：2018年12月22日(土)12時45分～16時30分(12時開場)

12月23日(日)10時～15時30分(9時30分開場)

場所：大阪歴史博物館4階講堂(大阪府中央区大手前4-1-32 Tel. 06-6946-5728)

定員：250名(当日先着順)

参加費：無料

主催：(公財)大阪市博物館協会大阪文化財研究所 問合せ：大阪文化財研究所(Tel. 06-6943-6833)